

VI 調布なないろ保育園

第1 総括

平成29年度も前年度に引き続き、調布市内で新設園が増加した。特徴的な保育方針を持つ社会福祉法人や、地方に保育拠点を置く株式会社が参入したことで、調布市の保育運営が多様化してきた。

その中で開所10年を迎えた本園は、その間積み上げてきた保育運営を丁寧に振り返りながら、課題や成果を拾い上げて実践に繋げ、「調布なないろ保育園らしさ」を彩ってきた。

特に、子どもにとって最善の利益を追求するには、職員が子どもの成長や課題を、職種を超えた様々な視点で捉えることが大切だと考え、「保育」と「食育」の両立を基本方針の軸とし、保育士や栄養士、調理員等が相互に保育に関わり合ってきた。そうしたことで、マンネリ化しつつあった行事への取り組みや、力を入れてきた調理保育や食材の栽培等に新しい視点や工夫が入り、子ども達の経験値が格段に増加するとともに、子ども一人ひとりを、すべての職員が熟知しているようにする園の体質が強化された。

保育実践では、本年度も乳児保育、幼児保育で目標を立て、「育てたい子ども像」を明確にして取り組んだ。定期的な保護者面談で子どもの成長の共有することに加え、保護者の保育参加の工夫や、父親のネットワーク作りを狙った「お父さん集まれの会」が軌道に乗り、保護者が来園する機会や、休日でも保護者同士で子育てを協力し合う家庭が増え、園と保護者の良い関係が深まった。

一方で職員の事務軽減や休憩確保については課題を残している。平成30年度から保育所保育指針が改定される機会をとらえ、文書等の改訂や必要量の見直しをし、働き甲斐のある職場作りを実現していく。

第2 経営実績

1 定員

(単位:人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	6	14	20	20	20	20	100
実数	9	14	20(1)	21	21(2)	19(1)	104

※ 括弧内は、障がい児の受入れ数

2 利用率

(単位：%)

事業名	平成 29 年度実績	平成 28 年度実績
調布なないろ保育園	104.0	105.0

第3 事業報告

1 重点事項への取組

(1) 健康でよく遊ぶ子（乳児クラス）

乳児クラスでは「自己肯定感を育む」「正しい生活リズムを身に付ける」「運動機能を伸ばす」を目標とし取り組んだ。各クラス内をさらにグループ化して保育を進めたが、月齢によるグループ化を基本としながらも、個々のその日の体調や様子に合わせて過ごすことを大切にされた。そのことにより、安定した生活が確立され、大人への信頼感や友達への興味等、十分に深めることができた。

運動面では、年度当初「転びやすい」「体力がない」「体を動かしたまらない」等、課題も多くあった。そこで、毎日のリズム遊びや運動遊び、さらに戸外で歩くことの経験等、発達に合わせた遊びを意識的に取り組むことで改善に繋がった。

さらに、乳児合同リズムを行うことで、体の成長だけでなく小さい子が大きい子を真似るなど技術的な刺激もあった。さらに異年齢での交流をきっかけに、日々の中でもちょっとした手助けをし合ったり、声を掛け合ったりするなど心の成長を感じる自然な関わりを持つことができた。

(2) 自分で考え行動できる子（幼児クラス）

幼児クラスでは「かけがえのない自分作り」「規範意識の芽生えを培う」という目標に基づき保育を実施した。日常や行事の様々な経験の中から、好ましい姿の時には褒め、そうでない時には何がいけなかったのかを具体的に伝え、全てを含めて子どものありのままを認める保育を実践した。

週1回の幼児会議ごとに子ども達の姿を職員で共有し合い、幼児職員全員が子どものことを把握できるように、対応の仕方も含めて情報交換ができ、その子に必要な援助を皆で共有したことで子どもが安心して自己実現できた。

各クラスでは年齢に応じた人間関係が見られ、「自己主張をする」「相手の話を聞く」等、人間関係の基礎の部分を見守りながら丁寧に伝えいくことを行った。異年齢での交流については、昨年度の反省をもとに、月1回の活動を「わくわく♪」と名付けて3歳児から5歳児で行った。月毎の担当を決め、ある程度の素案は出しながらも、幼児職員で内容を確認し実施した。「縁日ごっこ」「ゲーム大会」等、まさに、子どもも大人もわくわくするような活動になり、回数を重ねていくうちに、子ども達の関係が深まり、普段から交流する姿が自然と

生まれるようになってきた。ただ、保育準備等に多少の負担もあり、もっと自然な形で出来るよう今後の工夫が必要である。

(3) 保育と食育の連携

子ども達に経験させたい食育活動を、保育士、栄養士、調理員が連携を取りながら今まで以上に様々な活動を楽しむことができた。また、栄養士、調理職員が、子ども達との給食の喫食や遠足時の引率に積極的に参加し、子どもの様子を共有することができた。

本年度も農業協同組合から畑を借りることができたので、種芋からジャガイモを育て、収穫した芋でポテトチップスを作って年長児主体でお店屋さんごっこの一環で楽しんだり、冬に育てた大根を切干大根やふろふき大根として食べたりすることができた。子ども達は、野菜を育てて収穫し、食べる経験を通して、自然と触れ合いながら、食の循環や作ってくれる人の感謝の気持ちが持て、豊かな食育経験ができた。

2 実績報告

(1) 園児の受け入れ状況

月別の園児受け入れ状況は、次のとおりである。

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	5歳児	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19	232
	4歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
	3歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
	2歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	1歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
	0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
	計	105	105	105	105	104	104	104	104	104	104	104	1252

(2) 地域の子育て支援

ア 一時保育事業

一日5人を上限とし、登録制で調布市在住の子を対象とし実施した。本年度も保護者の就労による利用が多かった。登録児の多数が乳児で、利用後在園児童として入園するケースもあり、事業の性質が十分発揮できた。

(単位：人)

	一時保育延べ利用児童数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
合計	56	44	58	72	65	61	76	83	85	70	66	111	847

イ 地域交流事業

就学前の親子を対象に保育園体験を実施し園児との交流を図った。

子育て相談や保育園見学を兼ねることも多く、参加を経て一時保育事業へ登録し、定期的に園を利用することへと繋がり、地域の子育て支援として活氣的に活動できた。

(単位:組)

保育園体験	参加者	保育園体験	参加者
5月9日	7	11月14日	3
6月13日	5	12月12日	3
7月4日	4	1月9日	2
9月12日	3	2月9日	5
10月17日	1	3月13日	7
		合計	40

ウ マタニティーサポート

出産を控えた妊産婦や、出産後間もない親子を対象に、0歳児クラスを体験しながら乳児の育て方や子育て相談、また離乳食の作り方、進め方を伝える会を定期的に実施した。

(単位:組)

実施日	参加者
6月28日	3
7月26日	2
12月20日	3
2月21日	5

(3) 食育活動

本年度も、「楽しく食べる子ども」をテーマに、栄養士や調理員が中心となって、食育の月目標を立て保育士とのミーティングを重ね、連携を取りながら実践した。目標の達成に当っては、子ども達にわかりやすいようにパネルや紙芝居を用いて伝えていき、活動の反省を会議の中で報告した。

また、保護者に向け、月目標をわかりやすいよう掲示し、活動報告を掲示したり、書面で伝えたりして、家庭での食習慣へ反映させた。

さらに、「楽しく食べる」中でも、残さず感謝の気持ちを持ち、バランス良く食べることの大切さや、実際に食材を育てる栽培保育を通して、「食物を作ることの大変さ」を子ども達に丁寧に伝えた。

年度を通して調理保育を実施し、調理をする楽しさや料理が出来るまでの過程を学ぶことで、食への関心を育んでいった。

以上のような様々な経験を通して、食に対する興味を高めていき、子ども達が積極的に食事の準備や配膳の手伝いに参加するなど、食を営む基礎を培うことができた。

ア 行事食と世界の料理献立

月	行事食	世界の料理
5月	子どもの日 ・鯉のぼりチキンライス ・魚のパリパリ揚げ	
7月	七夕 ・天の川ちらし寿司 ・七夕すまし汁 ・キラキラゼリー	
8月		インド料理 ・ナン ・キーマカレー
9月	防災の日（非常食） ・カレーライス ・ポテトサラダ	韓国料理 ・米粉のチヂミ
10月	開園記念日 ・赤飯 ・天ぷら 運動会応援献立 ・ブヒブヒソースかつ丼	西洋料理 ・鮭のミラノ風カツレツ
11月		イタリア料理 ・米粉のニョッキ
12月 アレルギー 除去強化月	なかよし献立 （卵・乳・小麦不使用） 冬至 ・かぼちゃの煮物 クリスマス ・ケチャップライス ・唐揚げ ・フルーツポンチ	
1月	七草 ・七草粥 鏡開き ・白玉しるこ	
2月	節分 ・鬼っ子ご飯 ・いわしのつみれ汁 ・太巻き バレンタイン ・ココアクッキー	インドネシア料理 ・ナシゴレン風炒飯 ・ガドガド風サラダ
3月	5歳児リクエスト献立 ・カレーうどん ・ココアプリン ・唐揚げ等 ひな祭り ・飾り寿司 ・三色ひなゼリー	

イ 食育活動

6月	だしの飲み比べ・味噌汁作り (5歳児)	11月	クッキー (4歳児)
7月	ラップゼリー (5歳児)	11月	さつま芋餅 (3歳児)
8月	カレーライス (5歳児)	12月	米粉のパンケーキ (5歳児)
8月	アイスクリーム (4歳児)	1月	米粉うどん (5歳児)
8月	ピザ (3歳児)	2月	鯛の手開き (5歳児)
9月	お月見団子 (5歳児)	2月	足踏みうどん (4歳児)
9月	ずんだ餅 (3歳児)	3月	米粉のパンケーキ (5歳児)
10月	五平餅 (5歳児)	3月	バター (3歳児)
11月	さつま芋茶巾しぼり (5歳児)		

※ 日々の保育の中で野菜の皮むき・おにぎり作りを実施

※ 当日献立食材を、見て、触って、感じる (0歳児・2歳児)

※ 毎月旬の果物の種類を感じ、触感、香り、味覚の違いを感じる (1歳児)

※ 米とぎ・炊飯…5歳児

(4) 保健報告

ア 健康管理

保護者が記入した児童票と健康カードから子どもの健康状態・既往歴・予防接種状況・平熱等を情報収集した。その情報をクラス毎に一覧表にして子どもの健康状態を担任と共有できるようにした。

0歳児クラスは登園時に検温を行い、視診と合わせ保護者から子どもの様子を聴取し、異常の早期発見ができるように努めた。その他のクラスも連絡帳や保護者からの伝達を受け、子どもの健康状態を把握した。

本年度、外科治療が必要な園児が4人いた。受診結果や入院までの留意事項等保護者と密に連絡を取り合い、園児の健康状態の観察を行い予定通り入院・手術が受けられるようにサポートした。

また、喘息や熱性痙攣、川崎病の既往がある子は、日々の健康状態の観察を細目に行い保護者から受診結果等を聞き健康状態の把握に努めた。その情報を園医にも報告し、適宜診察を行ってもらおうよう働きかけた。

さらに、突発性発疹による急性脳症で入院した子の保護者のメンタルケアを行うと共に、入院中の病状や経過等を適宜情報収集したり、退院後の配慮事項(園での対応等)について、保護者から情報収集したことを職員全員で共有し、異常の早期発見・対応が出来るよう働きかけたりした。その後、登園し今まで通り安定した園生活を送ることが出来た。

食物アレルギー対応児の保護者とは、受診頻度や負荷試験の日程と結果等を詳しく情報収集した。また、エピペン保有児がいるため、園内研修を月1回、乳児会議や幼児会議の中で実施した。

乳幼児 CPR（心肺蘇生）訓練も毎月 1 回実施し、ほとんどの職員が手技を身に付けられている。

感染症罹患流行期は、室内の消毒を細目に行うよう働きかけると共に、保健所からの指導内容を全職員に周知し感染拡大を最小限にとどめられるよう働きかけた。

【感染症罹患状況】

(単位：人)

インフルエンザ A 型	1 8 (内 4 名職員)	インフルエンザ B 型	2 9 (内 5 名職員)
突発性発疹	6	りんご病	2
水痘	1 2	手足口病	2 4
胃腸炎	1 4 (内 3 名職員)	プール熱	3
溶連菌感染症	7	ヘルパンギーナ	4
RS ウイルス	1 1	アデノウイルス	4

イ 受診ケース

本年度も、安全チェック表を活用し安全確認を行っていたので、環境因子が要因のケガはない。自己によるケガが多く歯科受診するケースが多かった。中でも、転倒により歯折した子は今後も定期受診が必要になるため、継続して対応することとしている。

本年度、安全マニュアルの改訂を行ったことで、職員の安全に対する意識もさらに高まり、未然に事故を防止できた。日頃からインシデント・アクシデント報告を職員会議や朝礼で周知し再発防止に努めるよう働きかけた。予期せぬ出来事で、ケガをするケースも多く、その時の状況を丁寧に振り返り再発防止が出来るように取り組んだ。

	性別・年齢	項 目	受 診 先
4 月 1 日	男児・1 歳児	転倒し歯折	歯科受診
4 月 8 日	男児・3 歳児	保育士とぶつかり口腔内受傷	歯科受診
6 月 7 日	男児・2 歳児	室内で転倒し唇受傷	外科受診
6 月 20 日	男児・0 歳児	四つ這い中に転倒し口腔内受傷	歯科受診
9 月 28 日	男児・1 歳児	バランスを崩し転倒口腔内受傷	歯科受診
10 月 26 日	男児・5 歳児	他児の手が目につかる	眼科受診
11 月 14 日	女児・0 歳児	座位から転倒し口腔内受傷	歯科受診
11 月 15 日	男児・2 歳児	転倒し口腔内受傷	歯科受診

1月13日	女児・2歳児	熱性痙攣	慈恵第三病院
1月15日	男児・4歳児	階段を踏み外し顔面受傷	脳外科受診
2月27日	男児・2歳児	机の下にもぐり脛受傷	眼科受診
3月12日	男児・4歳児	園庭の柵にぶつかり脛受傷	眼科受診

(5) 避難訓練及び防災対策

避難訓練は月1回以上実施し、園児に避難時大切なことを伝えるため、わかりやすいようにパネル等を使用して実施した。年度後半は抜き打ちでの訓練を実施した。

特に火災想定での訓練は、出火元を調理室に限らず、保育室にするなどして、万が一の災害に備え、柔軟に避難できる内容を工夫した。

また、災害時に備え、BCP（事業継続計画）訓練を年2回、管理職不在の想定で実施した。保護者の参観もあり、有意義な訓練となった。

さらに、発電機、簡易トイレの設置方法、非常食の保管方法を全ての職員で点検、確認を行った。加えて、起震車体験や模擬消火器を使用した消火訓練や、普段使用しない非常用滑り台を活用した訓練等を実施し、災害が起きても速やかに対応できる技術を身に付けた。

(6) 年間行事報告

一年間に実施した行事は、以下のとおりである。

月 日	項 目	内 容
4月3日	入園式	21人の新入園児を迎え和やかに会を実施した。職員紹介の出し物や、年長児が作ったメダルをプレゼントされ喜んで参加していた。
5月25日	春の遠足（4・5歳児）	あいにくの雨天ではあったが、室内で異年齢に分かれゲーム遊びを楽しみ、保護者の作ってくれたお弁当をグループごとに食べる事ができ、交流を楽しんだ。
5月26日	春の遠足（3歳児）	雨天のため、園内を高尾山に見立てて階段上りをしたり、大水槽を水族館に見立てたりして園内探索を楽しんだ。初めてのお弁当を楽しむ事ができた。
7月8日	夕涼み会	会のオープニングで年長児が作ったお神輿を担いで、九州の大雨による被災地への見舞いの気持ちや保育園の安全祈願を行った。ゲームコーナーでは小さい子から大きい子まで楽しめるよう工夫し親子で充実した会となった。
8月4日～5日	お泊まり保育	会の始まる数日前から子ども達の期待を膨らませるイベントが始まり、当日は園内の数か所に隠された手紙を探しながら宝探しを行った。一晩楽しく泊まる事ができ、子ども達は自信に満ちていた。
9月8日	おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会	67人の祖父母が参加し、年長児の和太鼓の演奏や、園児と一緒に制作やゲームコーナーを回って楽しんだ。祖父母に園の様子を知ってもらい良い機会となった。

10月2日	開園記念日会食会	開園10周年を祝い、幼児クラスの園児と法人職員と共に会食を行った。子どもながらに園の誕生日を意識し、喜んでいました。
10月9日	運動会	晴天の中、たくさんの保護者の応援を受け、日ごろの運動遊びの成果を披露した。特に年長児は、クラス一体となって取り組もうとする姿があり、成長を皆で感じた。
10月19日	秋の遠足(3・4歳児)	品川アクアパークへバスで遠足に出かけた。異年齢のグループで館内を見学したり、イルカショーを見たりして楽しんだ。
10月20日	秋の遠足(5歳児)	雨天であったが、高尾山に行き、クラフト制作やプロジェクトマップなどを見て自然について学んだ。良いタイミングで雨足が弱り、ケーブルカーで薬王院まで参拝することができ、普段感じることのできない体験ができた。
11月7日	芋掘り散歩	近隣の越山農園に薩摩芋掘りに出かけた。子どもにとって芋を掘るのは根気のいる作業であったが、土の感触を楽しみながら収穫をした。
11月9日	焼き芋会	芋ほり散歩で収穫した薩摩芋を、前日より洗って準備を行い、園庭で炭火にくべ、焼き芋を楽しんだ。炭火の様子に興味深く見守り、自分達で収穫した薩摩芋の味を十分に楽しむことができた。
12月15日	餅つき会	子ども達にわかりやすく餅つきの意味を伝え、杵と臼で餅つきを行った。子ども達は餅が伸びる様子に歓喜の声を上げていた。作った餅は年長児が鏡餅にし、園内や近隣の家庭及び老人ホームに配り、一年のお礼の挨拶をして喜ばれた。
1月9日	新年を祝う会	正月の意味をわかりやすく伝え、年長児と職員が正月の遊びを紹介した。職員の扮した獅子舞が子ども達の頭を噛み、祈願すると、笑う子と泣く子とでにぎやかな会となった。
2月2日	節分の会	雨天のため室内で豆まきを実施した。節分の意味を知り、自分達で作った鬼の面を披露し合った。子ども達は、鬼が現れ怖がりながらも必死で退治に奮闘したり、泣く友達をかばったりしていた。
2月9日	劇団「たんぼぼ」観劇	劇団たんぼぼによる「おたまじゃくし海へ行く」という物語の人形劇を観た。乳児から幼児クラスまで楽しむことができた。
3月16日	卒園式	晴天に恵まれ、19人が晴れやかに門出を迎えた。たくさんの来賓や保護者、職員に見守られる中、一年間を振り返る思い出の言葉や歌を披露し、就学への希望で満ち溢れていた。
3月23日	お別れ散歩	年長児が、各クラスに分かれて一緒に散歩に出かけ、園児との思い出作りを行った。小さい子は大好きな年長児にたくさん遊んでもらって喜んだ。 また、年長児は年下の子のお世話をしたり給食を一緒に食べたりして、最後の思い出作りを十分に作った。
3月30日	進級式	新年度からの担任や転園する友達、退職する職員を知り、進級する喜びや感謝をする会となった。 また、年中児が「よさこい」を披露し、達成会を味わうことができた。
定例	誕生会と伝統行事	七夕、ひな祭り、水開きなど、季節ならではの行事を年齢に合わせた取り入れをし、意味を伝えながら行った。 また、誕生会では、保護者と担任からのメッセージを添え、生まれた喜び、命の大切さを伝えた。乳児クラス、幼児クラスで別開催とし、季節や子どもの興味に合わせた内容とした。

(7) 職員研修体系

「研修の状況」を体系別に表すと次のとおりである。

体系		内 容 (下記の数字は、「研修の状況」の「No.」を表している。)	回数
一 般 研 修	新任職員	1,3,11,12,15,22,23,27,29,41,43,45	12
	現任職員研修	2,5,6,7,8,9,10,13,16,17,19,20,21,25,28,30,31,32,33,35,36,38, 39,40,42,44,45,47,48,49	30
	副主任研修	18,32,36,46,48	5
	主任職員研修	14,24,45,46	4
	施設長研修	4,12,26,29,34,37	6
専 門 研 修	保育士研修	1,2,4,6,7,9,11,13,14,17,18,19,20,23,24,26,29,30,31,32,34,35,36 37,38,39,44,45,46,47,48,49	32
	調理師担当職員研修	8,10,16,25,28,33,40,42,	8
	看護師研修	5,	1
	事務職研修	3,12,15,22,27,41,43	7
	用務職研修	21	1
園内研修		研修報告・新保育所保育指針について・保健関係	49
園内新人研修		接遇マナーについて・保育の方法について	6
研修参加合計		研修参加人数 合計 32人、延べ参加人数 36人	46

(8) 職員研修の状況

研修への参加状況は、次のとおりである。

(単位：人)

No.	月 日	内 容	主 催	人数	延べ
1	5月8日	新任職員研修会	東京都民間保育園協会	1	1
2	5月9日	離乳食の進め方	調布市保育園協会	1	1
3	5月26日	パソコン研修会	東京都民間保育園協会	1	1
4	5月29日	東京都の保育行政及び指導検査 研修会	東京都民間保育園協会	1	1
5	5月30日	小規模プール衛生管理講習会	東京都多摩府中保健所	1	1
6	6月2日	手遊び・歌遊び	調布市保育園協会	1	1
7	6月6日	東京都保育研究大会	東京都社会福祉協議会	1	1
8	6月13日	保育園給食研修会	調布市子ども政策課	1	1
9	6月19日	障がい児保育	調布市保育園協会	1	1
10	6月20日	噛む力を伸ばす援助方法	東京都社会福祉協議会	1	1

11	6月21日	調布市子ども発達センター見学会	調布市子ども発達センター	1	1
12	6月27日	処遇改善についての説明会	東京都民間保育園協会	2	2
13	7月10日	1歳児の発達と保育	全国保育団体連絡会	1	1
14	7月11日	乳幼児期の食事支援ポイント	東京都多摩府中保健所	1	1
15	7月13日	社会福祉会計簿記入門講座	法人総合福祉研究会	1	1
16	7月18日	栄養管理講習会	東京都多摩府中保健所	1	1
17	7月21日	新時代に相応しい保育	調布市保育園協会	1	1
18	7月26日	子どもと一緒に作る食育遊び	夏の芸術教育学校	1	1
19	7月27日	特別支援教育公開研修会	東京都府中けやきの森学園	1	1
20	8月10日	調布市子ども発達センター研修	調布市子ども発達センター	1	1
21	9月6日	秋季セミナー福祉施設における大規模災害	東京都福祉施設士会	1	1
22	9月12日・14日・15日・28日・29日	社会福祉法人施設会計実務研修会	東京都社会福祉協議会	1	5
23	9月13日	危機管理・危機対応研修会	調布市保育園協会	1	1
24	10月17日	保育所保育指針の改定でさらに見直された乳児保育の大切さ	東京都社会福祉協議会	1	1
25	10月20日	食物アレルギーへの保育園での対応	東京都社会福祉協議会	1	1
26	11月2日	管外研修	調布市保育園協会	1	1
27	11月10日	社会保険事務講習会	東京社会保険協会	1	1
28	11月24日	食育実践研修会	東京都民間保育園協会	1	1
29	11月29日	交通安全研修会	日本交通安全防犯連絡会	3	3
30	12月1日	保育園で何ができるか	東京都社会福祉協議会	1	1
31	12月1日	笑う保育	調布市保育園協会	2	2
32	12月5日	園児の咀嚼嚥下	調布市保育園協会	2	2
33	12月11日	保育園の食を楽しむ子どもに大切なこと	東京都社会福祉協議会	1	1
34	12月12日	新保育所保育指針研修会	東京都民間保育園協会	1	1
35	1月15日	子どもの行動観察のポイントとアセスメント	調布市子ども発達センター	1	1

36	1月24日	絵本の力、読み聞かせの魅力	調布市保育園協会	2	2
37	1月24日	改定保育所保育指針「解説書」研修会	全国保育士会	1	1
38	1月27日・28日	発達障害コミュニケーション 初級指導者認定講習	日本医療福祉教育コミュニケーション協会	1	2
39	1月30日	保育園給食研修会	調布市保育園協会	1	1
40	1月30日	食品衛生実務講習会	東京都多摩府中保健所	1	1
41	1月31日	東京都行政説明会及び日本小児 内分泌学会講演会	東京都民間保育園協会	1	1
42	2月5日	給食担当者講習会	東京都社会福祉協議会	1	1
43	2月6日	東京都保育士等キャリアアップ 補助金等の実績報告に係る説明 会	東京都福祉保健局	1	1
44	2月7日	母子保健協会第8回シンポジウ ム	母子健康協会	1	1
45	2月7日	交通安全講習会	園児交通安全防犯連絡会	2	2
46	2月13日	管理職研修会	東京都民間保育園協会	2	2
47	2月15日	保育所保育実践研修会	東京都民間保育園協会	2	2
48	2月19日	特別セミナー	全国私立セミナー連盟青 年会議	2	2
49	2月22日	仲よし子育て心理学セミナー	東京都民間保育園協会	2	2
研修参加人数合計 60人 述ベ参加人数合計 65人					